

< 学校再構築に向けて・・・ >



◇入学して1週間後に始まった約2ヶ月間の臨時休業がようやく開け、学校再開となりました。6月1日の朝、カバンについた鈴の音。「おはようございます」の元気な挨拶。校長先生をはじめ先生方は本当にうれしく、忘れられない1日となりました。給食終了後、体育館に、信更中学校全生徒全職員が集まり、“新しい生活様式を取り入れた信更中学校を始めましょう！”と校長先生からお話がありました。

感染防止のために『新しい生活様式、3密（密閉 密集 密接）を防ぐ日常生活』を取り入れた新たな学校生活が始まります。先生方も、安全に安心して登校できるように、臨時休業中と同様に、登校前や下校後も毎日除菌作業をしています。新しい生活様式を取り入れた新たな学校生活で、“・自分が創る ・みんなで創る ・楽しい中学校生活”『信更中学楽しい園』となるようにしましょう。

第一ステップとして、40分授業、15：40完全下校。“新しい生活様式を取り入れた新たな学校生活になじむこと”“心も身体も毎日登校するリズムに”を目標として1週間を過ごします。学校でも、①換気 風通しよく ②ソーシャルディスタンス 人との間隔2m ③手洗い マスク 咳エチケットに心がけましょう。また、毎朝の健康チェックや体温測定を必ず行い、体調がよくない時は無理せず休養することです。

この休み中、「休んでいる間やるはずだった勉強は今からでも間に合うの？」「授業が多くなるのかな？」「友達は何しているのだろうか？」「夏休みはどうなるの？」と、心配なことや不安なことがあったと思います。そのような不安は家の方も先生方も同じです。皆さんと同じ心配や不安を感じていました。学校再開にあたり、皆さんも家の方も一番多く心配されていたことは、学習のことです。そこで日課の中に新たに、60分間の『すずらんタイム』を取り入れます。自分のペースで進める個別学習（自学自習）の時間の導入。臨時休業中の自宅学習でわからなかったことやできなかったこと、自分で計画を立て進める時間です。先生にアドバイスを求めたり、自分のペースで進めたりして、授業中に学習したことの復習や、次回の授業内容の予習等、苦手な教科の克服、得意なことのレベルアップにつなげましょう。

また、ずっと家の中にいた生活が続いたので、初めの1週間は、鈍った体をほぐすハッスルタイム（みんなで運動）を取り入れます。帰りの学活では、合唱をして“みんなで創り上げる楽しさ”も味わいましょう。

もう一つ心配していたことが部活動のこと。残念ながら大会やコンクール等は中止となりましたが、体力や健康面を考えながら段階的に活動時間や内容を増やしていきます。

最後に、約2ヶ月間も家で生活した初めての経験をしました。困ったこと悩んだこともあったと思います。最初の1週間で担任の先生と全生徒が面談する時間をとります。またSCの松原先生と面談する時間や、教科の先生・山本先生・教頭先生、そして“何でも相談校長室”は、いつでも相談ができるようになっていきます。一人で悩まないで、相談してください。

今月は一週間ごと、給食も教室とは別室でとり、初めの一週間は、職員が配膳しました。部活動の方も、活動時間・内容を生徒の健康面を第一に考え段階的に取り組みました。

< 前期人権教育強調月間 6/1 ~ 30日 >

◇すずらんプランは、生徒会の自治活動・生徒による手作りの人権集会を通して、仲間や地域で役に立っている自分を自覚し、生徒自身がいじめのない安心して居心地のよい学校づくりを目指す活動です。徳武生徒会長の話から主な活動をお伝えします。

『6月は前期人権教育月間です。今日から3回にわたり、人権生徒集会を行っていきます。この人権生徒集会では、信更中人権宣言を自分がどれだけ意識して生活しているかを振り返り、今の信更中でのいじめ問題について考え、いじめをしない・許さない態度や、本当の仲間づくりをしていこうという意識を高めることを目標にしています。信更中人権宣言は、今から10年前に作られました。その時に、信更中学校にはいじめで苦しんでいる人がいるということを全校生徒が知り、いじめをなくす学校を創り上げるために作られました。そして、いじめをなくすためには、勇気が必要だということがわかりました。いじめをしてしまっている人には、いじめをやめる勇気、周りで見ている人は止める勇気がなければ、いじめはなくなるのです。』



この人権生徒集会を、今までの自分の言動を見つめ、本音で話し合い、お互いを認め合える学級や学校づくりに全校で取り組んでいきましょう。心を一つに、全校での学習が始まりました。“悩まずアタック”という啓発ビデオを前半(6/10)と後半(6/17)に分けて視聴し、『いじめ』という問題にみんなで学習しました。

○もしいじめをされたら、家族や先生に相談する勇気を持つことが大切だと思いました。自分からはからっただけかも知れないけど、相手からすれば、それがいじめにもつながると思うので、相手に誤解される行動や発言をしないように自分でも気をつけたいと思った。(2年)

○いじめは、殺人と同じだと改めて思った。みじめな姿が見られたくなくても、早めにエスカレートする前に相談しなければいけないと思った。いじめを見て見ぬふりは、絶対にやってはいけない。(1年)

自分の意見を述べ、周りの人の考えを聞き、信更中から1人も悲しい思いをする人が出ないように、自分や学校の問題として真剣に取り組んでいます。

< 保護者の皆様へ >

◇本日ご案内した7/1(水)の参観日[人権教育]では、長野市少年育成センター指導主事の西澤剛先生より、『親子で学ぶ、スマホ・タブレットの正しい使い方』のテーマで講演会を実施いたします。SNSやLINEなどにイタズラや冷やかしのつもりであげたことが、犯罪行為になってしまうケースなど、再度使用について、モラルやマナー面からお互いに学び合いたいと思いますので、是非ご参加ください。なお、今回の講演会は、7月に予定していた防犯教室も兼ねて実施いたします。

◇北信中学校中学校体育連盟、北信中学校校長会より配布いたしました長水・北信大会中止による交流大会は、各競技専門部の調整により、バドミントン競技は7/25(土)・26(日)の開催することとなりました。なお、どの種目においても、3年生を中心に行われる交流大会ですが、選手にとって安心・安全な大会になることを最優先に考え、無観客試合です。後日、大会要項は各学校に配布されます。ご理解いただき、何卒ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【文責：教頭】



すずらん 『再び幸せが訪れる』